

効果のあった実践事例

学年 第3学年 教科等 算数科

単元・内容 「1億までの数」

検索キーワード 大きい数の大小比較, 不等号の意味理解

○ ねらい

- ・ 1億までの数の大小を比較することができる。

○ 手立て

視覚化（不等号のイメージを図る）

ポイント！

- ・ 魚の口のイメージが不等号の理解へとつながる。
- ・ 算数の記号を身近なもの結び付ける。

1 不等号を魚の口として提示し、不等号を理解させるようにする。

- ① 学級を2つのグループに分けて、0～9のカードを1枚ずつひかせる。一の位から順にカードを並べる。



- ② どちらの数が大きいかわかせる。
③ ①～②を繰り返す。



百万の位が1と3なので、3の方が大きいです。
だから、三百十三万八千七百二の方が大きいです。



パクちゃんの口が開いている方が大きいので、右側の口が開いているようにします。



○ 児童の変容

- ・ 不等号の意味を理解し、数の大小について不等号で正しく表現することができた。